

～長い開催時間が自慢です～

わくわくスクール東野教室 【大崎上島町】

教室の概要

○ 教室の目的

児童の放課後の安全・安心な居場所として過ごしてもらうとともに、町民ボランティアによる学習支援を行っている。また、健康・環境・日本文化等をテーマにした特別教室を行うことにより、情操教育の一助としている。

○ 教室開設の経緯

文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」の開始に伴い、教育委員会主管の地域子ども教室と福祉課主管の放課後児童クラブを合体した形で開始した。

【開始年度】平成19年度	【実施校区】東野小学校区
【開催場所】ランチルームをパーティションで区画	【コーディネーター人数】1人 (※他教室と兼務)
【開催日・開催時間】月～金：14:00～18:00 土：13:00～18:00 長期休業：8:00～18:00	【安全管理員人数】1人
【年間開催日数】280日	【学習アドバイザー人数】1人
【参加学年・平均参加人数】小学校1～6年生 28人	【ボランティア人数】3人

活動内容

○ 一日の主なメニュー及び週間スケジュール

学習アドバイザー・町民ボランティアによる宿題の指導。終了後は遊びを中心とした自主活動。月～金は上記の活動、土曜日は町民ボランティアによる特別教室（華道・邦楽・茶道等）を実施。

○ 特徴的な活動プログラム

長期休業中に特別教室として、町内の3教室合同で、職場体験学習や近くの島等への小旅行、合同の昼食会などを実施している。



夏休み森林教室



職場体験学習



茶道教室



ワクワク学び隊 (ヒップホップダンス)

運営上の工夫

○ 町内3教室合同での特別教室の実施

夏休みの職場体験学習のため近隣町内外の企業に協力を得るとともに、町民ボランティアの協力を得やすくするため、特別教室については町内にある3教室合同で実施している。長期休業中については職場体験学習・小旅行・合同昼食会・テニス教室など、児童が参加しやすい企画にしている。

○ 安全管理方策の充実

学校との連携を図るため年2回の合同運営委員会に各学校長に出席していただき調整を図っている。学校の防災訓練にスタッフが参加。申し込み時に記載された保護者以外の迎えは申し出がない場合以外禁止。スタッフに安全マニュアルの周知徹底を図っている。

○ スタッフの連携及び研修

月1回コーディネーター・学習アドバイザーでスタッフ会議。また、開室前に当日のスタッフでミーティングを行っている。

県主催の研修会にコーディネーター、学習アドバイザーが全員参加し、力量の向上に努めている。

○ 広報活動の工夫

参加案内を全校児童の世帯に配付。新入学児童については、入学説明会に参加し、案内を配付している。

○ 保護者アンケートの実施

スタッフの指導状況及び特別教室の希望等のアンケートを保護者に実施し、ニーズの把握に努めている。

○ 活動場所の工夫

学校のランチルームをパーテーションで区切り、限られた空間の中で、学習スペースや遊び場を確保している。

○ 保護者との連携における工夫

毎月「わくわく通信」を発行。緊急時には、メール等での連絡もしている。わくわくスクール参加児童の保護者を対象に「親プロ講座」を実施し、家庭での子どもの状況の把握の一助としている。

わくわくスクール参加児童の保護者のみなさまへ

平成25年 月 日
参加教室：大崎・東野・木江（○印を）

教育委員会社会教育課では家庭教育支援事業の一環として放課後子ども教室（わくわくスクール）と「親の力」をまなびあう学習プログラム等を行っているところです。つきましてはこの事業のさらなる充実に向けて、アンケートへのご協力をお願いいたします。

① お差し支えない範囲で、あなたご自身のことについてお答えください。（記号に○をつけてください。）

【性別】 1 男性 2 女性
【参加児童の学年】 1 1～3年生 2 4～6年生

② わくわくスクールの学習アドバイザー・安全管理員の指導方法についてお答えください。（まず、番号に○をつけ、右枠の中に具体的な内容をお書きください。）

1 たいへん良好 → そのように思う理由を具体的に書いてください。
2 良好 →
3 あまり良好でない →
4 良好でない →

③ わくわくスクール（放課後子ども教室）はあなたの生活（子育て等）に役立つ事業ですか。

1 たいへん役立つ → そのように感じる理由を具体的に書いてください。
2 役立つ →
3 あまり役立つくない →
4 役立つくない →

④ 土曜日・長期休暇中に実施している特別教室についてお答えください。
学習内容は子どもたちの将来に役立つと思いますか。

1 たいへん役立つ → そのように思う理由を具体的に書いてください。
2 役立つ →
3 あまり役立つくない →
4 役立つくない →

⑤ 指導方法及び特別教室に関する意見・感想があれば、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

～保護者アンケート～

事業を実施して

【参加者の声】

（児童の声） 宿題が出来るのでいい。夏休み等に、絵や工作の教室があるので助かる。

（保護者の声） 毎日宿題をして帰るので助かる。本来、家庭がすべき華道や茶道の指導をしていただいて感謝している。

（スタッフの声） 配慮が必要な児童がいる場合、研修を受けた専任のスタッフが必要である。

【成果と課題】

6年が経過し、安定した事業展開になっているが特別教室の固定化も見られるので、保護者・児童のニーズをより一層把握していきたい。また、インフルエンザ・ノロウイルス等、県内で参加児童の安全を脅かす状況も多く発生しており、安全対策の充実を図りたい。

